

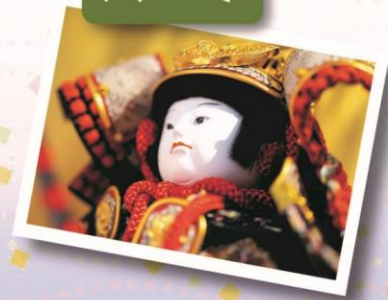


文化庁京都移転
Welcome to Kamigyō



『京の五節句と年中行事』

端午の節句展



五月五日は、五節句のうちの一つ「端午（たんご）の節句」です。奈良時代に中国から伝わりました。五節句は、一月七日（人日）、三月三日（上巳）、五月五日（端午）、七月七日（七夕）、九月九日（重陽）の五つの日のこと。

古来、陽（奇数）が重なると陰が生じるとされ、これらの節句の日には邪気祓いの行事が行われてきました。

旧暦の五月は雨期で悪病の流行る時期でもあり、香り高い菖蒲（しょうぶ）や蓬（よもぎ）で厄払いをしました。江戸時代には、菖蒲が、尚武（＝武道・武勇を重んじる）と同じ読みとなるため、武家の行事となりました。男の子の誕生と成長を祝い、家の繁栄を願う重要な行事として今に伝わっています。

本展では、武者人形、兜に加え、菖蒲の葉と蓬を軒に挿し、邪気を祓う「軒菖蒲（のきしょうぶ）」を中心に紹介いたします。脈々と受け継がれてきた京の歴史や文化にふれ、後世に残すため本展示を企画しました。

期間

令和5年4月26日(水)～5月2日(火)
9:00～17:00

※土・日は除く

場所

上京区総合庁舎1階 区民交流ロビー

問合せ / 上京区役所 地域力推進室（企画担当）

電話：075-441-5029
FAX：075-432-0566



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

事業名：「京の五節句と年中行事」

主催：京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、上京ふれあいネット運営協議会

協力：いけばな嵯峨御流 石川利佳甫、有職京人形司 大橋式峰、工房武久、国定織物(株)、(有)テラヲ貨物店、image フラワーデザイン京都、Art gallery be 京都

本事業は、令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の助成を受けて実施する「京都の地域文化財総合活用推進事業」の一部です。